
:☆:.:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:_
:☆:.:☆:._ _.:☆:._.:☆:._.
:☆:.:☆:._ 自然法算命学 運命鑑定書 _.:☆:._.:☆:._.
:☆:.:☆:._ _.:☆:._.:☆:._.
:☆:.:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:._:☆:_

〇〇〇〇 様

鑑定書製作者：自然法算命学 観山素至命

鑑定書は大きく三つに分かれます。

- ・天の巻：ホームページにあります運命鑑定書。
- ・人の巻：性格分析が主となります。
- ・地の巻：大まかな後天運が主となります。

天の巻：自分の役目を知るためのデータベース、素材を記載してあります。

◆天の巻◆運命鑑定書

□ 数理学 (八門法) □

★ 五常元法 (八門法) 【とう陀型】

	木(龍高・玉堂) 17	
水(車騎・牽牛) 48	火(貫索・石門) 78	金(禄存・司禄) 21
	土(鳳閣・調舒) 38	

北方：(龍高・玉堂) 17 点
 東方：(禄存・司禄) 21 点
 中央：(貫索・石門) 78 点
 南方：(鳳閣・調舒) 38 点
 西方：(車騎・牽牛) 48 点

■ 丁火の守護神 ■

丁火は灯火(ともしび)、蠟燭(ろうそく)の火を象徴とします。よって、丁火にとってもっとも必要な存在は蠟燭の火源であるロウであります。十干に置き換えると甲木であります。自然界では丁火は松明(たいまつ)の火です。松明が燃えつづけるには、薪を樹木のあるところから伐採してくる必要があります。その役目をなすのが、斧である庚金であります。

丁火は、甲木と庚金がバランスよくあることが、宿命を生かせる道であります。

丁火にとってもっともいやな存在が雨であります。よほど強い松明でないと、雨で消えるか、水が水蒸気爆発してしまいます。その場合、戊土、己土で癸水を抑える必要があります。

丁火は焚き火とするか星とするかの違いです。身強は焚き火として役目を発揮します。身弱は星として役目を発揮します。身弱が世の中で力強く生きようとするとな滅火となり運命の寿命が短くなります。

基本「丁火」は木性によって火性が燃え続けることができます。持続力が生まれます。木性の無い丁火は運気の持続力に限界が生まれます。

春は木性と金性です。木性の火源と金性で木性を刈り取ることで、火源を強めます。

夏は燃えすぎると火事になりますので、水性と金性です。そのうえで火源の木性を求めます。

秋から冬にかけては火源の木性と、木性を刈り取る金性です。弱すぎる丁火には火性も必要です。

丁火：守護神　：　守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。
午月生まれ　：　守護神は　壬水　庚金　甲木

壬　　調候（癒し）の第一守護神　父、配偶者、名誉、資格

壬水は大河に悠々と流れる水や湖水とみます。
水は力強く流れていれば清いのです。

陽壬　海湖－交通を意味する
方位は北方、色は黒色、夜をイメージさせる色。
自然界の事象に置き換えて大河、大海、海原、人工的な水
陽の水性で海、湖を表します。水は流れますので「流動」とい
う言葉で表します。流動は海流からきています。すべて一定のも
のがなく常に何か動いています。対象が流動するのです。
壬水は流動する気の象徴です。

辛　　調候の第二守護神　社交における愛情、お金

辛金は加工された優しい貴金属とみます。
指輪とか貴金属のように宝石の象徴です。

陰辛　宝石－宝石など宝物すべてを含む
方位は西方、色は白色、または淡白（薄い白色）
自然界の事象に置き換えて小石、砂利、貴石、軟金
辛金は金属としては柔らかいのですが、鋭い宝石という質があ
り、「従鋭」という言葉で表します。宝石の気は特別意識、美意
識という気をもたらします。積極的な気です。
辛金は無形の世界を自然淘汰する気の象徴です。

甲　　調候の第三守護神　母、母性愛

甲木は山や大地に聳え立つ大木（樹木）とみます。
大きく育った大木は庚金（斧）を用いて伐採し、役に立つ棟梁の
材と成すことです。

陽甲　樹木－建築など食料以外の用材

方位は東方、色は青色、春の樹木が持つ青々とした青緑色
(古代の中国では青色は植物が持つ色でした。)

自然界の事象に置き換えて樹木、巨木、大木。

樹木は真っ直ぐ伸びるので動きを「直」といいます。真っ直ぐな気です。気は先へ先へと進みます。

甲木は命の象徴を表します。

■後天運守護神■

丁火：守護神　：　守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。

午月生まれ　：　守護神は　壬水　庚金　甲木

後天運　壬、癸、亥、子の年は、世の中の注目を集める運氣です。

後天運　甲、乙、寅、卯の年は、目上の引き立てを得て運気の動きがスムーズです。

後天運　庚、辛、申、酉の年は、バランスをとりながら宿命が稼動する運氣です。

■忌神■

丁火：忌神

午月生まれ　：　忌神は　火性（丙火　丁火）　土性（戊土　己土）

後天運　丙、丁、巳、午の年は、運気の動きが滞りがちです。

後天運　戊、己、丑、辰、未、戌の年は、運気の動きが滞りがちです。

■極■ 極は、運勢のポイントをにぎっており、扇の要に相当します。

午 生月中殺：家系の援助を離れて宿命が稼働します。

■天中殺■

■午未天中殺■ 午未(6月、7月) 午年、未年

- ・ 午未天中殺 南方中殺世界といい、細木数子女史の六星占星術では、火星人と説かれているようです。

- ・ 本質：義。
- ・ 役目：物事の推進力、前進力。
- ・ 場所：運命を共にするものとの共同の場。
- ・ 方法：有形。

現実的世界で前進することを役目として与えられており、補佐役、二人三脚の同志を得ることが大切である。新しい世界を作り、理想を構築するために常に前進し、その中で自己の役目が消化されていく。自己の心の中から発した現実的理想郷を作り出すことが役目として与えられている。家系の流れの末代に生まれやすく、家系の最終段階として何らかの結果を作り出していくこととなる。未来より自分の代で何らかの形成をなそうとする。そのために、子供縁が薄く、跡取りは自分の仕事の継承者となりにくい。目上上司の引き立て強く、初年運、中年運の人が多く。子孫、後輩、子供の生き方に対しての心の広さが問われる世界であります。

□宿命（無意識の行動世界）□

■丁(魂の本質：一番奥にある純粋な心の動き)■

【直情思考】

性情として情熱的、風流で知的な考え方をします。善悪に対する感性が鋭く、利益至上主義の会社より、社会に対する基本方針がある会社の方が、たとえ待遇が少々悪くても性格的に合うでしょう。基本的には楽道家です。

物事に対して受動的であるため、誘われたら断ることが苦手な傾向にあります。

穏やかで知的な好奇心、優しい感情を本質に持ち合わせています。意外に取り越し苦労が多く、ここ一番で大胆な発想で前に進むことはできません。実利より社会に役立っているかどうか判断の基準とする傾向にあります。

感情がストレートに出やすく、他人の誤解を招きやすい人です。直感的に物事を感じる場所があります。他人の内面を洞察する気質があり、人の気づかないところに気づく場所があります。周りを明るくする雰囲気を持ちますが、時に身近な人に対して傷つけてしまう場所があります。

【1】 ■宿命中殺（限定されない、無限の世界に向かう気の有無を見ます） ■

完成される見込みのない物に挑戦することを役目として与えられている星です。宿命中殺の人は、いつでもどこでも追求できる人であり、目標を高いところにおいて、常に疑問を持ちながら追求していく役目を与えられています。死ぬまで満足してはいけません。周りからみて良い主人であっても、自分はまだまだだと思っていた方がよい。目標が高ければ高いほど宿命中殺の良さができます。

【1-1】 ■生月中殺■

家系、身内、六親に縁薄いです。激動の運気を所有し、国家や社会など、本人の属する環境が動乱に合うと、大きな力を発揮するようになります。

通常の社会生活に合わせた生き方がしずらく、いっふう変わったと思われる社会生活がふさわしい。世の中の常識に併合しずらく、常に無限の可能性に向かって突き進むことを役目として与えられています。

社会に対し、無限に何かを求める気質を所有するため、無限に甘えて放浪者となるか、無限に何かを極めて一派を築く等のどちらかに片寄りやすくなります。

結婚後、夫が社会と協調した生き方がしずらくなります。なぜなら、夫に無限の期待をするようになるからです。（ただし、夫が宿命中殺の場合は、その限りにありません。）

家系中殺、家系の恩恵を受けられない。社会に対し周囲の常識とかげ離れた感覚を所有します。親元に居ると、身内に不運が生ずる傾向にあります。

家系の恩恵が薄ければ宿命が陽転の方向へ向かいます。無限の可能性を求めて行動するようになります。

家系の恩恵が厚いと宿命が陰転します。家系や身内に頼った意識が生まれ、依頼心が無意識の根底にあって、物事の判断、選択するようになります。

- ・ 心のバランスが取れないため、価値観が現実主義か精神主義に片寄りやすくなります。

現実偏重：利益優先的な生き方となる

精神偏重：宗教的な世の中へ現実的な世界から離れた生き方をする。

- ・ 育った家庭が現実的か、精神的かで差が大きくなっていきます。家庭内に於いて、両親が人生を広い視野で見ていると宿命天中殺の

無限の可能性に向かう気が動き出すようになります。

【1-2】 ■貫索星中殺■

頑固さが空回りしがちです。むやみに意地を張ったりします。ライバルが現れやすい星です。自分を押し殺してしまうことがあります。自分の心を守ろうとする気持ちはあります

兄弟の運気を落としたり、亡くなった兄弟がいたりします。

独立独歩の人生は波乱の人生となります。自分を周りに理解してもらえないため、精神的孤独感や不安感を感じやすくなります。

自分自身の本心を表に出せず、無意識に集団に組みしていく傾向があります。そのため、本音を表面化すると変わり者に見られます。

心が純粹で周囲の環境に影響されたり、惑わされたりします。

精神が完全に消化されると、純粹な無我の境地を形成できる星であります。

無限の精神性、自立心、自我心を形成することに役目があります。

現実的には、自分を押し殺すことができるので、組織や集団の中で、その要（一種の補佐役・参謀役）として生きることに役目があります。

【1-3】 ■石門星中殺■

友達を作ろうとします。組織を形成しようとしてします。友人や組織を大切にします。組織を守ろうとします。しかし、自分の意図するものとは異なる方向に組織が動いていたりします。それは、組織や人間関係に異常な期待感を持ったりすることにあります。

組織や時代の裏側を見ようとしてします。人とは違った見方で世の中を見ようとするところがあります。

組織や集団との縁は深いです。

兄弟姉妹においては、弟、妹との縁が薄くなります。

自分の意にそわない組織に入ったり、グループを作ったりします。意に添わない人間関係を作りがちです。時に、人間関係に空しさを感じてしまいます。

組織における教育係、アドバイザー等の人間の精神形成の援助者としての役目があります。

無限の可能性を求めて組織を作ったり、新しい時代の精神形成に役目があります。

【2】 ■宿命位相法・散法（分離・分散・淘汰の気を見ます） ■

【宿命衝動はありません】

身内、家系と、現実的な面で、極端な価値観の違いはありません。
結婚前、親元を遠く離れないことにおいて、現実が安定します。

【3】 ■宿命位相法・合法（融合・和合・強調・まとまりの気を見ます） ■

【3-1】 ■宿命半会合法 ■

異次元・異質集団のまとまり。縦線的結合集団。（上下関係）
上下関係で集団や、組織においてまとまろうとする気があります。
いろんな世界の集団や人々と交わり、まとまろうとする意識が常に働いています。

宿命に半会があると柔軟に融合しようとし、行動力があって冒険心があります。

会局合法は、価値観は異なるも共通の目的の下にまとまるという意味があります。集団が一つの目的の下に纏まり、目的に向かって進もうとする星です。共通の目的を持つことが、この星稼働のポイントです。

会局合法を一言で言えば、異なる価値観、共通の目的で人と群れを組む星です。

【3-2】 ■生年支と生月支の合法（半会会局） ■

半会で成立するため、両親が家系の本流の流れにあることを現しています。（本家の流れ）

職場や仕事を縁とした人間関係の広がり大切に行動するところがあります。

自分の生き方と両親との係わりが深いことを表しています。

仕事に対して積極的に活動しようとする意識の持ち主です。

過去を現在に巻き込む。現在の生活に過去を活かし、経験主義者、経験を生かす人となる。体験しないと納得しないタイプの人となる。

仕事や生き方に対し親の影響を受けやすく、友人関係に対し情で動いてしまうことあり。

現実的には、前を向いてあるこうとする。しかし、目先のことにとらわれやすい気質の所有者です。

いろんな世界の集団や人々と交わり、まとまろうとする意識が常に働いています。仕事を通じた社会や友人関係にその傾向が現れます。

社交や人付き合い、前進力に対して、同じ目的のもとにまとまろうとする意識が動きます。

【4】 ■宿命干合（魂が他者と融合する気の有無を見ます） ■

干合とは融合する気を生まれながらに持った星であります。融合の気があるため情に流されるところがあります。

情に流されるため迷いが多いです。相手に融合するかするかしないかで気持ちや考えが変化するためです。

環境や価値観が変化する瞬間に運をつかんでいきます。

人生の節目、変わり目で運をつかみやすい星です。

感情に訴えられるものに弱く、情にもろいです。そのため注意しないと人に利用されたり、相手に迎合されたりします。

自己の信念をストレートに表現できず、時に妥協して迎合してしまいがちです。良くであれば人情家、悪くすると偽善家となります。

相手と融合することを優先して気が動くため、融合する相手の真意をくみ取ることが苦手なときがあります。

靈感体質であり、周囲の雰囲気敏感な体質であります。

環境に振り回される星ですから、よい環境に合うと気分が高揚しやすく、悪い環境に合うと、人の因縁を受け取ってしまう星です。いわゆる、靈感体質、憑依体質ともいえます。ですから、良い波動にも簡単に順応できるともいえます。気の清らかなところ、神社、山登り、海などの自然と触れ合うことで、心と運命のバランスを取ることができる星です。自然とふれあい、清らかな世界と触れ合い、心のきれいな人と縁を持つようにすることで、運勢が急に好転に向かう星であります。

【4-1】 ■生年と生日の干合■

心が純粹で情深く、相手の気持ちをくみ取れる星である。

配偶者に尽くす人であります。心は純粹で周りとは歩調を合わせようとするため、自分の本心がわからなくなりがちです。

結婚において親の影響を受ける星であります。

女性なら夫に尽くす星である。父親の影響強く、親と同居した女性は、婚期が遅くなりやすい。

自分が相手のペースに引き込まれやすい。

社会性のなかで、その生き方に対し親の影響強くして自分の思いを通せない部分を所有する。

結婚においては、次元（あるいは世代）が異なる人との結婚となりやすい。

目上、親に対して自分の本音を言い表すことができず、後で、内面に反発心を内在するようになります。

【5】 ■干支異常（異常干支）■

丁亥、己亥、戊子、庚辰、乙巳、戊戌、辛巳、癸巳、壬午、甲午
壬戌、丙戌、丁巳、甲戌、乙亥、辛亥

生年、生月の異常干支は、両親、および生きる環境、家系、職場の中に、一般の世界からすると特殊な環境、特殊な仕事、特殊な人間関係、特殊な才能という、何らかのかわった環境と縁がある星です。サラリーマンなどの、普通の生活の状況で自分を成り立たせようとする精神的に苦痛を感じる事となります。

異常干支が悪くでると、靈的憑依体質、神がかり的才能を発揮し、靈能力、超能力、直感力となって現れます。

【5-1】 ■年干支暗合（異常干支）■

壬戌

両親との関わりにおいて、精神的不安定の要素を所有しています。

非常に靈感・直感の強い星である。異常なものをみたり、白昼夢を見たりする星です。

魂が純粹で、いろんな波動に感応しやすい星です。

自分の感情が両親のちょっとした変化で豹変してしまい、自分でもコントロールできないことがあります。

【5-2】 ■日干支暗合（異常干支） ■

丁亥

魂の本質において、精神的不安定の要素を所有しています。

非常に靈感・直感の強い星であり、異常なものをみたり、白昼夢を見たりする星です。

魂が純粹で、いろんな波動に感応しやすい星です。

自分の感情が周囲、環境のちょっとした変化で豹変してしまい、自分でもコントロールできないことがあります。

【6】 ■守護神判定 ■

【6-1】 ■調候の守護神透干 ■

世の中が求めているものを把握する人です。如何にしたら自分が注目されるかを、無意識に把握しています。

平和な時代、平均的以上の生活レベルの家庭で育つと、守護神が稼動します。

文明社会で人の評価を得やすい星です。

組織や社会、人間関係において注目を得やすい星です。

平和な時代、物質運に恵まれやすく衣食に困らない星です。

動乱期や田舎の一人暮らし、泥臭い生き方はできません。

目的が精神的なものや、次元、位、名誉を高める方へ向きやすいです。

本人の努力に関係なく幸運に恵まれるところがあります。

本人の努力に関係なく、世の中や社会に認められやすくなります。

時として、自分の運勢の良さに甘えてわがままな性格が形成されることがあります。

困った時に救いの神が現れる先祖の恩徳のある星です。

【6-2】 ■調候の忌み神透干■

世のなかで注目される世界に関心が向きません。
人の心を把握するのに時間がかかります。
誰もやったことのない分野で道を開く運です。
誰も手を付けられない分野に関心が向かい、誰もなしたことのないこと
を世の中に打ち出すことで、世の中で必要な存在となります。

【6-3】 ■両道運(りょうどううん)

守護神と忌神が共に透干する宿命。
幸運と試練が交互に現れる運勢です。

○ 忌 守
○ ○ ○

幸運と苦労が同時か、交互に現れる運勢です。
開運するのに苦労を厭(いと)わない性格の持ち主です。
すごく嫌な事をしたら、すごく良い事がある。良い事の後には嫌な
でき事も待っている。嫌な事があれば、良い事もある。
楽しいことと同時に試練を感じる。幸運と不運を同時に感じる。良い
ことが起きる時、不快に感じることも伴う運勢です。

【6-4】 ■守護神干合■

平和な時代に力を発揮し、組織や社会、人間関係において評価を得
やすい運勢ですが、物事の局面、運命の岐路、人生の選択の岐路にお
いて、自分に幸運をもたらす存在が力とならない。
人間関係の情に流されて正しい判断を見失うことがあります。
外的要因に流されたり、振り回されたりしないで、自分の本心、本
音に忠実、誠実であることで、幸運を引き寄せることができます。

【6-5】 ■守護神虚気透干■

自分の係わる人々の次元をあげる役目があります。
自分のことより自分の環境、周りの意向を優先することによって、

自分の係わる周囲に幸運をもたらし、結果として自分も幸運へ導かれる運勢の持ち主であります。

周囲に幸運をもたらしますが、本人の幸運に結びついた感覚が薄い動きとなります。(結果的に本人も幸運に導かれますが、本人自身の自覚が少ないです。)

■ 目上に対する意識運 ■

目上、上司の引き立てを得ることによって、幸運にめぐり合う運勢を持ち合わせています。

目上に必要とされる分野で才能を発揮します。

二番せんじの世界、目上が成して成功している分野を後から追いかけて追い越し、目上から注目される生き方をします。

組織の統率者によって運命が左右されます。統率者の目に留まる運勢です。

目上の注目を一身に集めます。良いことをすれば、そのことが注目されます。悪を成せば、他人の目にとまり、世のなかから淘汰される運命となります。

■ 世の中に対する意識運 ■

世のなかで注目される世界に関心が向かない。

人の心を把握するのに時間がかかります。

誰もやったことのない方法で道を切り開く運です。

動乱型の運勢です。世の中が動乱の時代、動乱の環境で運勢の発福をみます。

世の中で誰も手を出していない、あるいは注目されない分野で才能を発揮する。苦勞、試練を経験して運命が開花する。

非常にたくましい運勢の所有者となります。動乱に強く逆境に強くなります。世の中が激動になるほど力を発揮するようになります。

本人の努力に関係なく、世の中で評価を得にくい星です。裏方や周囲の人には認められますが、上司や職場からの評価を得にくい星です。

社会や表の世界、組織や職場に認められようとして行動することは、報われることが少なくなります。自分のまわりの人や裏方に回って、

社会の支えを役目として与えられています。

社会や組織の裏方において役目を発揮しやすい運勢の持ち主です。社会や組織等の表だった世界で認められない人のお手伝いをする運勢です。

世の中に対して無限の可能性を發揮できる環境を求め、結果、ゴールがはっきりしない世界で才能を發揮します。

生活のなかに精神的な部分（音楽、芸術、宗教）を取り入れることでバランスを取ることができます。

精神世界、哲学、宗教、占い、信仰、芸術、学問、スポーツ等の世界で才能を發揮します。

若くして親もとを離れて社会生活をおくると、社会のなかで無限の可能性を發揮しようとしています。社会人になって親の援助で生活すると自分の価値観を無限に社会に押し付け、周りから非常識の人に見られます。親の恩恵（経済的）を受けると、世の中に対して

結婚すると、無限の可能性の配偶者を求め、理想が高くなります。配偶者が無限の可能性に向かって歩んでいると、応援する動きとなります。

□宿命（意識できる世界）□

■貫索星主星の性格■

他力的構造、守り・自我意識

環境、状況によって気質が変化する。環境に恵まれると頑固さがなくなる。人の嫌がらせには強い。敵が多いほど力を発揮し、敵味方ははっきりする。

人の言動に素直に従うと自分の内面（心）が崩壊していく感覚におそわれる。だから、頑固になる。よって、自己の確率が必要になる。同質なもののなかに良さがでてくる。

自分に向かってくる気を、反発してはねのけようとする。

・【貫索星主星の運勢の特徴】

独立独歩の人生を歩みやすい。

自我心が強く融通が利かない。自分で決めたことを自分で曲げることに苦勞する。一つの決まった仕事をさせるのにはよいが、人との和を大切に仕事には向かない。

才能より自我を優先するため、才能が薄い。

自我心、頑固、外剛内柔、独立独歩、集団の要

・【貫索星主星の吉凶】 自分の運気のバロメーターを知るために！

吉作用 現実消化（陽転）

現象 集団の要、組織づくり。

要であろうとする。仲間を生かそうとする。独立する。

同性の兄弟姉妹の中で育つ。年上の兄弟姉妹のなかで育つ。

性格 要となる。自立心を持つ。他と異なる自分を表現し、確認する。

行動力、自立心、独立心。内面は重々しく、ゆったり鈍重である。

凶作用 精神消化（陰転）

現象 頑固我がまま、自我を守る。他者を意識しライバルが現れる。

一人っ子で育つ。兄弟縁が薄い。我欲がストレートに出る。孤独。

性格 エゴ、我がまま、自己中心。気軽で軽快、活発になる。対抗意識。

自己中になる。ライバルにこだわる。財にこだわる。独占する。

■純・濁法■

意識が平和型か動乱型かを判別します。この世の中は濁であり、平和な家庭は純であります。世の中に順応しやすいかどうか、家庭人向きかどうかを判別する技法です。

純の星は女性が持つと消化しやすく、濁の星は男性が持つと消化しやすい星です。

【濁】 本質的に性情としてじっとしてられない性格となります。

この星は、行動的、積極的であります。

濁っている星であり、清濁あわせのむ心の広さが持てる星です。

運の伸長に環境による問題はありませんが、環境に恵まれると飢えがなくなり、世の中に対する意識が後退していく可能性が生まれます。自分が動き出すことによって運がのびる星です。

世の中は濁である故に、動乱的星である濁の人は生きやすいということになります。

自分もっている質と環境が合うことが重要となります。

【職業】 生産性の会社は濁です。鉱山・船舶・機械・営業

■身強・身弱法■

身強・身弱は本人の現実世界に対する気の強さを判別します。人生における道路を走る時の車の大きさにたとえられます。大きい荷物を運べる人か、少しずつ荷物を運べる人かを判断します。

身強は人の上に立とうと欲し、人と共に社会を生きようとします。そのため自我心が強く、頑固さを内面に所有するようになります。頑固さがあるため、人の意識を自分に向けてまとめることができるのです。

身弱は精神的世界で生きようとする本能があります。現実的世界に対してうとくなりがちです。現実的世界でいざというとき、追い込まれると、それに耐えることができない性分です。

世の中には、身強といわれる人間掌握に役目のある人と、身弱とい

われる精神的次元の上昇を目指して、品位や魂の次元を上昇させることに役目のある人がいます。身弱は精神的人間性の上昇、あるいは品位、社会に出ると組織の格式の上昇に役目があります。

人に対して直接的に人心掌握して人を動かすタイプが身強の人、芸術や組織のルールなど、間接的手段によって人の心を動かすタイプが身弱の人です。間接的に人を動かすタイプは、人の次元を上げたり、下げたりすることがあります。

身弱は、自分にあったことは持続できますが、自分に合わないことを持続する根気がありません。

身強は自分に合わないことでも、我慢して持続させることが出来ます。

ですから、身強は自分の適職になかなか気づきにくいし、身弱は自分の適職を早く発見しやすい。といえます。

【身強】

精神的部分を補えずに育つと（精神が鍛えられないと）情にもろく人の頼み事を断れない性格となる。すべてにつけて理性で対処できなくなる。

人の目に情にもろく暖かみがあるように見られるが、やがては自分のためにやっているように見られる。

精神的苦勞して育つと内面が鍛えられ、集を組んで引っ張っていくようになる。

集を作っても目的が違くと仲間割れをして分裂します。目的の同じ集団形成が大事です。

行動力が伴うようになると、物事の判断に直感が冴え、現実の判断が冷静に対応できるようになります。

運氣強くして、頑固なところあり。

身分に上下の差がない平和期に力を発揮する。

根を生やしてじっくり生きる方が運勢が発福しやすい。

【身強・濁】

エネルギーがよくして、頑固さあり。世渡りに強し。

世俗、社会の濁につよい。

■局法（性格による行動の大きな特徴）■

【1】井乱局（せいらんきょく）

意志力のもろいところがあり、養子にいて運が伸びる要素があります。男性は妻方の家系に同調しやすく、女性は嫁ぎ先の家族と和合しやすい性格となります。

両親との縁が薄く祖父母等に育てられることがあります。

動乱に強い星です。目的を持つことで才能を発揮します。

【2】乱命局（らんめいきょく）

一つの出来事から次の出来事への心の変化が極端になって現れやすい性格の要素があります。

動乱に強い星です。目的を持つことで才能を発揮します。

■循環法（運勢が動くときの流れを観ます。）■

一代目の運勢。親、兄弟の助けを借りずに運勢を切り開く星です。独立性を持つ仕事が良い。

自分の仕事において、後継役に恵まれにくいところがあります。社交と現実主義です。

始めがなく終わりが無い。自分が物事に対しけじめ・区切りができない。行動のきっかけにおいて、動機の結論付けができない。

とにかく行動することによって自分の中の気が動き出す。

目的を決めてから行動するタイプではなく、行動のなかに目的が見えてくる星である。

人生のある時点において、極端な運命の変化をおこす。

他人との交流を嫌い、物事の考え方に独創性が生まれます。

人生の目標が、物事の本質、真理を求めようとします。

真理の本質を言葉以外のものでも伝える手段を見つけると良い。

※ 現実的行動を起こすときのきっかけの原因

名誉・地位など自己の立場を優位にすることが物事の出発原因となる。

自己の正当性を押し出そうとするエネルギーが、出発時の原因を作り出す。

※ 想念・観念を起こすときのきっかけの原因

改革・改良・変化を、求める考え方が想念の出発の原因をつくりだす。

□家系運□

心、魂が癒されるための方法を知る技法です。

【紫微陰】 守護神（癒し）の力は現実的なことで力を発揮します。
家系とは現実的に関わりがあります。

【紫微破】 母親の体内に宿ったとき家系の気と自分の気が異質であったことをあらわす星です。家系の質を変化、あるいは進化させる気質があります。

先祖や家系の気質、伝統、慣習から離れることによって、運勢のバランスが保たれ、魂が落ち着きます。

【用神破】 この世を生きていく上で、自分自身の意識によって心のバランスを保とうと欲する星です。

この世に生を受けて後、親の意向を離れて自立することで、運勢が上昇することをあらわす星です。

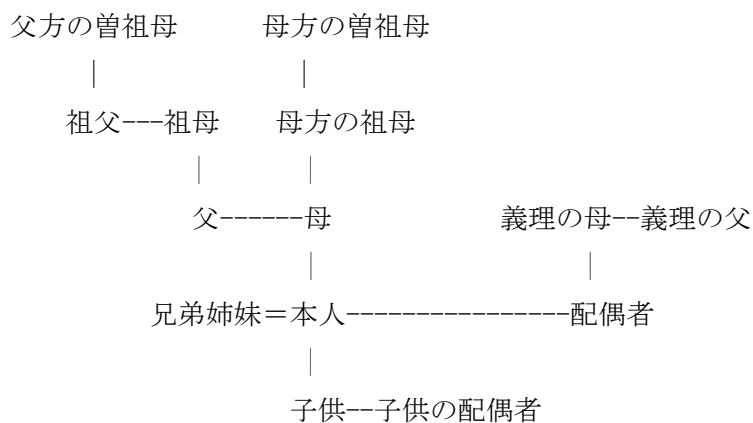
人生を歩む中で、自分の力で頑張ろうとする意識が芽生えることが、大切です。

【秋運】 守護神（癒しの力）は、家系や先祖の伝統、風習にとらわれず、自分自身の生き方を自覚確立して、自分自身の意識によって心のバランスを保とうとします。

先祖から子孫へつながる家系の流れの中で、周りの家族をいかそうとする意識が、魂に安らぎを与えます。

自らの運勢を優先しようとするとき、先祖から子孫へつながる家系の流れの中で、家系の平均より上昇することを抑えられてしまいます。家族や身内をいかすことが役目の一つとして与えられた星です。

- 霊法**■ (縁の深い順) 夫、兄弟姉妹、母、父、父方の祖母
 父方との縁が深い星の元に生まれています。
 結婚後、嫁ぎ先との縁が深くなります。



■**結婚を決定するときの方法を知る**■

体裁にこだわり、顔立ちにこだわります。表街道をストレートに進んでいる人を好きになる傾向にあります。

結婚に対し運命的に両親、目上の影響が大きい。自己の我や感情に走りにくく、自らの結婚における運命を天に任せる心境が必要である。

決断の要点は、育った環境が自分と大差ない人を選択した方がよい。

■先祖とのかかわりを知る■

どのような先祖の気を受けているかを知る技法

- ① 同じ家系が二代、三代に渡って持続した家系に生まれてくる星である。順当な家系が二代、三代に渡って続いて来たときに生まれてくる星である。ただし、天録星二つあると、天将星としてみる。
- ② 父方母方を含んで、自分と親の代、祖父母の代に渡って、養子または養子的時代があったことを示している。

女権が非常に強く、父が長男か末っ子、あるいは、母が長女か末っ子で、長男適役割を果たしている。

養子の意味は明るいため、養子的時代は、陰気なものではなく明るい。
- ③ 父方の家系に大きく成功した代と、大きく不成功の代の極端な差がある家系に生まれる。その成功、不成功の極端が、自分の代から一代おきに繰り返される家系を作り出す可能性を秘めている。ただし、子供の数が増えると、上下の差が少なくなる。

自分の代と子供の代が、多産か一人っ子になりやすい。

□社会運□

■八門法■ 組織における自分の役目を知る法

【とう蛇型】

愛によるバランスを取った調和の意志力を自覚したとき、
運命における役目が動き出す。

器用で目的が定まりにくい。

環境が変化しても自分の本質は変化しない。

頼られると面倒見が良い。意志は強いが、孤立
無縁になりやすい。

政治家的質を所有する。

いじめられようと助けられようと動じない。助
けを求められても、助けたくなければ、助けない。

周りから助けられると逆効果となる。

すなわち、禍に強い星である。

非常なる冷静さと大いなる愛を持つとき運勢が躍動する。

【陰型】

組織の注目を浴びていない分野。裏方の分野。倉庫、
運搬、庶務課。(会社の職種や仕事の質によって違うの
で、所属する会社の質を見て判断を下す。)

組織における非生産的、裏の世界に向いている。

職場の目立たない場所。

実務、秘書、女房役的なもの。

一言で表すと【裏方】

【逆型】

外回りの営業や、体力を使う仕事。

本人の内面が理論派というより行動派である。

一言で表すと【肉体労働】

【陰型・逆型】：【裏方】【肉体労働】

会社の裏側、裏方で現実的分野で能力を発揮する。

裏の実務派、秘書、サラリーマン、技術職。

■座望法■

【南律：肉体の老・精神の若】

500年の、先祖の、魂の気の集約を受け継いでいる星。
無意識の行動において、行動は年輩の世代に近いが、気持ちは若い。
一般的な人、普通人、平均的な生き方をする人となる。

■宇宙盤法■ 社会における自分の役目を知る法

【陰陽 表・裏】

世の中表の世界・裏の世界関係なく、つきあえる人である。
人間関係や交際範囲は、世の中で認められていても、認められていなくても、本人にとってこだわりのない人である。

【主流・反主流】

どちらもあるため、社会への適応性はある。
社会に対する価値観が、偏りにくい。

【広い】

人間関係や交際範囲は広く、いろんな世界の人々と交わる事が多い。

- ※ 主流とは社会や組織の本流の世界：財界、政治、商業
反主流とは社会や組織の反主流の世界：日本においては軍部
芸能界、野党（政界）
- ※ 表とは注目を受けている世界：芸能、マスコミ、政治、財界
裏とは注目を受けていない世界：やくざ、軍部、職人、農業

□才能と長所・適職□

行動の途中に思考性が入り、行動に全神経を集中できない。

計画を立ててから動くのではなく、動きながらいろいろ対処していくので、仕事をしながら次の段取りを考える人である。経営者に多いです。

突発的の事故に対処できる人であります。悪くすると、行動が中途半端になる要素があります。

集団にとけ込みやすく、歩調を合わせることができます。

思考法が単純で、集団の歯車の存在になります。

考えるべきところで考えず、行動するところで考える人です。

思考より行動が優先します。

物事の判断が感情的になります。

人間関係において理性を優先するため、情が薄くなりがちです。

ものを売ったり買ったりとか、現実直結した行動の中に才能を発揮します。

- ・ 現実主義 目の前の行動、判断に才能を発揮します。
- ・ 現実重視 十年先をあまり考えません。

【現実的分野で才能を発揮します】

■牽牛星の才能です■

プライドが高く、名誉にこだわって行動します。

地位、名誉、資格を得てから才能を発揮します。

長期的目的を持つと、最も稼働します。

■財力を得るための適職です■

自分個人の考えや主張を伝達する仕事が適職となります。才能で勝負する職業。

- ① 芸能など個性を伝える仕事。
- ② 芸術など作品を通しての自己主張の仕事。
- ③ 自己の考え方を他人に伝達あるいは教授する仕事。
- ④ 物事の流れに関与するコーディネーターの仕事。
(プロデューサーや編集者等)
- ⑤ 音楽に係わる仕事。

■夢や理想を優先するときの適職■

見たものを美化して伝えていく世界。

マスコミ、コマーシャル。

芸術性、華道、茶道、詩人、俳人

自分の夢より生活や経済力を優先して職業を選択する傾向にあります。
経済性を優先した仕事をします。

□総合鑑定□

■【無意識世界】

- ・伝達環境を求め
- ・情報環境を求め
- ・その時代の注目される環境を求め
- ・先頭に立とうとする
- ・人を導こうとする環境を求め
- ・感受性が繊細
- ・未来をにう子供を大切にす
- ・波乱の世界で人を導く
- ・安定した世界でなまけもの
- ・夫を育てようとする
- ・年下の夫が良い
- ・子供が生まれると愛情が子供に向かう
- ・神経が繊細で集中力がある
- ・愛情が片寄りやすい

世の中、時代の最先端を進みたい願望があります。

情報、伝達環境で生きようとします。

未来に対して意識が向かいやすい。精神的に落ち込むことの少ない傾向にあります。

火、光、太陽、星、光るもの、目立つ環境、情報を扱う環境と縁が深い星です。

習得の環境に身をおこうとする傾向にあります。過去、先祖の影響を強く受けやすい氣質です。そのため、時に暗く、陰気な雰囲気を見ることがあります。

海、川などの水と関わる環境、波打つ要素が不安定な環境、流動する環境、経済など流通する世界等と縁が深い星です。

■【意識できる世界】

【貫索星主星（守備本能の陽）】

頑固で自我心が強く、一度決心したことは容易に変えようとはしません。人には頼ろうとはせず独立心が旺盛で、集団行動よりも単独行動が得意です。一つの事に関して奥深い考え方をする人で、内面には自分の信念を持ちます。そのためマイペースの人となり、周囲との協調性には欠けます。周りから批判されると、依怙地になります。

【とう蛇型の運勢の特徴】

自我の意識が強い性格です。自分自身と自分の周りの人を守ろうとする本能が強く、自分の意志や周りの人達も含め、守ろうとします。

組織や集団の中の要であろうとする意志が強く、思想や信念によって守ろうとします。年齢とともに情の深さを備えるようになります。

【濁の宿命】

社会や世の中にもまれることに強く、刺激を求める性格です。刺激のある生活を無意識に求め、刺激的環境において意識が活性化します。他人の言う事も鵜呑みにすることなく、現実的思考、判断で対応しようとする傾向にあります。

両親が苦勞した時代に育つと、世の中に対して現実的に対処する意識が芽ばえ、社会に出てから世の中と協調できる性格となる傾向にあります。

両親が、幼少期離婚したりすると、成人後、世の中に対して孤立した人間性を形成しやすいが、その中で自己実現をしようとしています。

幼少期、経済的に安定した環境で甘やかされて育つか、極端に苦勞や虐待を受けて育つと、成人後、仕事以外での刺激を求め、ギャンブルや異性に刺激を求める人間性となりやすい。

【最身強の宿命】

エネルギーが非常に強く、性格的には自己中心の意識が非常に強いです。普通の生き方では満足できないと思考します。女性は普通の結婚では満足できないため、なかなか結婚

の決断をしづらくなります。

最身強は宿命の器が大きく、大きな事・沢山の事がしたいと望みます。車にたとえると大型自動車、ダンプカー、一度に多くのことをなそうとする性格です。

大きな組織に入って力を発揮するか、大きな組織を形成するか、大きく世の中を見て、客観的に人を把握しようとしています。組織形成に最大の役目があります。

平和な環境、安定した仕事においては、強いエネルギーは内面の思考となって動き、仕事をしながらアレコレいろんな想念がめぐるようになります。そのため、単純な仕事をしているときほどミスをしやすいです。

人間関係、人間掌握に役目があるため、若い時代、人間関係で苦勞させられた環境で育つほど、人へのいたわり、人を包み込む人間性を形成する傾向にあります。

若い時代、甘やかされた環境で育つと、有り余るエネルギーは本人の内面にくすぶり、非常に悩み多い人生となる。それが、中年後、病気となって発散される場合や、うつ病となって発散される場合があります。女性は結婚後、夫に過大の要求、期待を求め、夫を精神的負担に追い込んでしまう。そのため、夫婦間のトラブルから夫の挫折を招きやすい。

(女性の場合、夫としてふさわしいパートナーは、10歳以上年齢差のある相手か、異国の人と結婚するとよい。それは、パートナーに過大なエネルギーを向かうが空回りするからです。

また、女性は結婚しても、そのエネルギーを家庭で消化しきれないため、仕事を持ったほうがよい。これも、夫に対して過大なエネルギーを向けないためであります。)

エネルギーが強いため、若い時代、人の何倍も苦勞をさせられる生き方をした人ほど自立心がめばえ、やがて、多くの人間関係を掌握しようとする。そして、組織形成で才能を発揮するようになります。

さまざまな事に挑戦し、自分だけの生き方を確立し、最終的に精神的価値観、自分なりの思想、イデオロギーを形成しようとするのが最大の特徴です。

■【運勢－１】

【初年期】

- ・身心を育てる時期。
- ・生来の素質と能力を育てる時期。環境から受け取るべき要素を星が表す。

① 牽牛星＋天印星の組み合わせ

養子取りになりやすい。自分の子供にこの星があると、子供の嫁が家の主導権を取るようになる。

② 調舒星＋天印星の組み合わせ

跡継ぎに恵まれず、養子を取りやすい。子供は女の子に縁が深く、本人は子供好きである。

子供ができず養子を取ると禍が出やすい。子供とのトラブルになりやすい。嫁に出すと禍がなくなる。

【中年期】

- ・自信の身心の能力を外界に働きかけ、内と外との相互作用を通して、自分の能力のすべてを発達させ、発揮させる時期。
- ・自分が所属する社会と自分自信の顕現させる本質を星が表す。
- ・社会から精神的影響を受け、身心の勢いが淘汰される時期が来る。

③ 石門星＋天禄星の組み合わせ

実に用心深く、人生の切り替えが非常にへたである。

人生行程において苦難、苦労を経験すると、見事な説得力を持つ。

楽な人生を歩むと、他人に対する批判、攻撃力が強くなる。

本音を隠し、平等意識とグループの和を支配する意識が強い。組織、集団の中で本音を見せない。思想、イデオロギーによって集団の安定に向かおうとする。利己的、我儘（わがまま）な一面が顔を出し、自己中心的に組織をまとめようとする。人前で本心が顔を出すことがある。

④ 貫索星＋天禄星の組み合わせ

実に用心深く、人生の切り替えが非常にへたである。

人生行程において苦難、苦労を経験すると、見事な説得力を持つ。

楽な人生を歩むと、他人に対する批判、攻撃力が強くなる。

非常に地味で目立たない。

対抗心とライバル心を意識し、組織、集団、社会の中で中心的存在を目指して努力する。守ることに対しては頑（かたく）なに頑固である。

【晩年期】

- ・若いときに形成したものを内面化する時期。
- ・身体を消耗させる時期。

⑤ 牽牛星+天報星の組み合わせ

アイデアに富んだ人である。そのアイデアを出すとき、勘が鋭くスピードがある。
子供の頃、自分のおもちゃを自分で作る。

この組み合わせに、貫索星または石門星が加わると、それを仕事にするようになり、さらに、禄存星または司禄星が加わると、事業を起こすようになる。

禄存星または司禄星があつて、貫索星または石門星がないと、単なる職人になり、自分で作って自分で売る人になる。

■【運勢－２】

【生月中殺】

生月中殺は、生まれてきた家系とあなたの気質、タイプが違うことを表す星です。この星は、両親の天中殺、または大運天中殺の時に結婚したことによって生まれてくる子供に多い星です。両親の結婚において、夫婦が異質の家系どうし、あるいは価値観、感覚が異質のときの結婚であることを表しています。そのために、子供が、両親の矛盾する気を受け継ぐため、家系の枠からはみ出ようとする気質となって現われます。家系の枠に納まりきれない星、家柄、家風と合わない宿命、それが、生月中殺です。

生月中殺は家系と異質な気質を持つ宿命であるため、家系（生まれた所、生地、生家）を離れたところで生活を始めるところから、生来の宿命の星が稼働を始めます。生月中殺稼働のポイントは、生まれた家系と異質な環境、生家、または実家、親族の影響を受けない土地で生活をはじめるところから、宿命が稼働を始めます。

親が天中殺で結婚しています。家系に無限の気を引き込み、夫婦が心の蓋を閉じれない、無限の枠の中で、お互いの魂が心底、本音の世界まで解放して理解し合う努力と会話が必要となります。天中殺という無限の枠の中で結婚したことで、夫婦の枠に納まりきれない、無限の可能性の子供が授かる運勢が待っています。

宿命中殺本人の内面では、「私を家柄、家風、家系の枠に閉じ込めないでよ。もっと、私の生き方を自由にのびのびさせてよ。」と、魂が叫び始めます。このような気の動きは、無限の可能性を求める気が動きだし、それが、生月中殺を宿命に持つ人の長所であります。自分の気質を、どの世界で活かすかが本人に与えられた選択の世界であります。無限の可能性を求めるのか、無限の名誉や地位財産に執着して生きるのか。ということが、人生に問われることがあります。生月中殺は、一般社会通念（社会常識）に溶け込めない思考法を持っています。そのため、時に、反社会的価値観を持つことがあります。自分が生きていく社会環境に、限定されない無限世界を形成しようとする気を稼働させる動きをするのが生月中殺です。

【半会合法】

目的のために価値観の違うもの同士でもまとまろうとする気です。物事の進め方において、目的追行のために大胆な行動力を発揮します。家族を含む集団において、共通の方針、方向性、目的が決まると、行動力が稼働する星です。

【宿命干合】

宿命干合は、環境や周りの意見を優先するあまり、自分の意思、意見を表現しづらい星です。周りから見ると優しい人、相手の気持ちを受け取ってしまう為、いわゆる、癒し系ともいわれる星です。周りの気と同調する為、良い環境に合えば運も上がり、悪い環境と縁ができると運が下がります。別名、憑依体質ともいえます。ですから、良い環境と触れ合うことが大切です。これは、人間関係で良い環境を求めなさい。ということではなく、自然の環境と触れ合うようにする事で、バランスの気を取りこむ事が出来る星であります。

【守護神透干】

平和な時代、平和な家系、先祖に、人に感謝されて生きた人の子孫に生まれやすく、世の中の注目を集める人生となります。動乱の時代、後進国、人の恨みを受けて家系に生まれると、世の中から排除、淘汰される人生となります。世の中で注目されやすい存在であるために、世の中、時代の流れを把握する才能を持ち、自分を世の中で注目される方法を無意識に見出す才能に恵まれる。女性は、配偶者が世の中で注目されるように応援する人です。上司、対面する人の求めているものを把握する才能が有ります。世の中で注目されているものを追いかけて、自分なりに消化し、世の中で表現し注目されるようにします。二番煎じに才能を発揮し、世の中でヒットしている人を追い越していくようになります。

良くも悪くも、世の中の注目を集めます。

【忌神透干】

動乱期に力を発揮し、世の中で誰も注目していない分野に関心が向かいます。そのため、若いころは社会とはみ出し者に見られます。世の中で注目されている世界を置き換えると、人生は壁だらけになりますが、誰も成していない分野を世の中で表現しようとする、創業者のような生き方となり、世の中で注目されます。

試練、苦労を通過して、世の中で才能を発揮する星です。

【両道運】

守護神と忌神がともに透干の命式。開運するとき苦労、試練、努力を伴います。大変な思いをしながら幸運の状態に存在します。

■【人間関係】

【生月中殺】

生月中殺は、一族の価値観、枠に納まりきれない子供である。良く出ると、無限の可能性を秘めた子供である。ということでもあります。本人の中の無限の可能性を認めてあげることが大切です。

ところが、世の中の親御さん達は、若くして自立していない子供にかぎって、自分たちの培った社会常識の中で、子供の方向性を見てしまいがちです。

無限の可能性ということは、無限に親族に甘える可能性もあるということです。運勢が熏ると、家の財産が一文になるまで、食いつぶす現象を出すこともあります。

生月中殺の妻は、夫に無限の物（地位、名誉、財産）を求める時、夫が宿命殺を持っていると、妻の気を受け流すことができますが、夫に宿命殺がないと、それをまともに受け取り、夫の精神的負担となります。

生月中殺の男性は、妻に無限の家庭的期待を持ちやすい。妻に宿命殺がないと、妻は、夫の無限の要求をまともに受け取り、妻は精神的負担となります。

【年と月の合法（半会会局）】

前進力を作り出す。未来を切り開いていこうとします。未来のために布石を打つ人です。月支と年支の半会は、指導者的世界で才能を發揮します。

月支と年支の半会は、仕事の人間関係、仕事を通じた社交の人間関係で広がりを持つとします。

両親が、生きていく社会、仕事の土台、支えとなる時、仕事と人間関係の広がりが生まれます。親の精神的援助、後押しが運気の広がりを作ります。

【宿命干合】

人間関係においては、周りの要望に対して自分の意見、意志を強く押し出せない、意思表示できない性格です。周りに強く出られると、自分が相手の気に圧倒されやすい気質です。

情にもろく相手の気持ちを優先しすぎて自分の思っていることを素直に出せない方です。そのため、内面での葛藤、反発を内にため込んでしまいがちです。仕事、人間関係、家族内において、あたかも自分の意見が無いかのごとく周りの意見に振り回されがちです。

人にやさしく、周りの人間関係を大切にしようとする行為と、それに対する自分の本音とのギャップから、時に、仕事や社交の世界でトラブルや口の禍、人のいないところでの陰口を出してしまうところがあります。

注意しなくてはならないことは、情に流され、優しさが禍して人にだまされやすいことが起きやすいことです。

【年干支暗合】

年干支の異常性は、両親の結婚、両親自身の、何らかの異常性の部分を受け継ぐということを表しています。

【日干支暗合】

日干支の異常性は、生まれつき異常感覚の持ち主です。ちょっとしたことで気分が変化します。良い波動、良い環境、雰囲気の良い環境で生活すると、気分よく生活できるようになります。

■ 【宿命の縮図】

【生まれ年干支：壬戌】 秋湖（秋の海や湖の意）

秋の湖海とし静寂の姿とする。水の動物（玄武）の帰るところとし、水旺（子孫繁栄）の始まりとなる。

【生まれ月干支：丙午】

夏至の南中する太陽を表す。暑すぎる日差しである。

強引な社会、目立ちすぎる社会、時代の最先端の社会を追い求める可能性あり。殺伐とした気質を持っている。仕事における気遣いが出来ないが、一貫した時代の最先端の世界に縁がある。

命中に水性を見ない者は、心のバランスを欠き、ブレーキの利かない性情となる。

【生まれ日干支：丁亥】 地罡（ちごう：ごうは四のしたに正）

勤勉真面目、地道な人生を歩む。特殊な靈感作用を所有する。

「風前の灯火」といい守ることより助けることが急務で、木性を喜びとする。壬水が透干すれば干合して多映光するという。シャンデリアのように反射して広がる光りの美となる。

人生において波乱多く、心の構造が複雑である。

自尊心と自負心（牽牛星）を奥に秘め、表面上は見えない（水→木→火）。精神の闘争に強く、現実社会の競争に弱い。宗教、学問、芸術の世界で才能を発揮する。

情愛は相当に厚く（暗合干支）、庶民、大衆の中（丙子グループ）で自己の役目を発揮する。しかし、時として夢の中に遊ぶ傾向があり、現実生活の中では趣味など、自己の世界の枠を作り他人を入れない。

若くして精神的苦難が多く、壮年期、晩年期に至って高い心の次元を形成する。独特の精神世界である。その若年期の精神的苦難が独自の人生哲学を形成しても、人に伝えることがなく、行動を通して示すのみである。

【宿命の風景】

あなたの宿命を自然界に置き換えると、季節は真夏、燦燦と照り付ける南中する太陽に寄り添う新月の月が、あなたの魂の象徴です。遠方に浅瀬の湖があり、月は朝と夕暮れに美しく輝いています。

生月中殺は無限のエネルギーとなり、猛暑の暑さです。朝晩は涼しくも、昼間は熱い風景です。初年期と晩年期は穏やかですが、中年期、社会生活において苦勞試練を通過する動きです。

無限のエネルギーは、親、家系、一族の恩恵（経済的援助）を受けないと、ハングリー精神が稼働し、組織の一員として周りを生かしながら要として役目を発揮します。一族の援助を受けると、利己的精神が現れ、周りに自分の価値観を押し付け、組織や兄弟友人を利用しながら自分の願望を達成する動きとなります。

干合（丁・壬）は、情にもろく優しく、癒し系の性情となります。権力者、力ある存在に逆らえず、相手に合わせてしまう人です。良く現れると癒し系の人となりますが、弱点は自分の本質が見えず、本音が言えないです。結婚すると配偶者に尽くす動きとなります。

半会（午・戌）は、父が本家の流れにあり、家系の本流を歩んでいた時に生まれていることを表しています。

牽牛星は美形、美人に生まれやすく、名誉、プライド、劣等感の星です。この星は、資格、地位を持つと役目を発揮します。社会的評価を得られない間はプライド、劣等感が強い性格となります。短期的に目的を達成しようとする組織に利用されやすく、長期的な視点、目的をもって人生を歩むと、晩年期に目的を達成し、品位ある存在となります。

親、親族の理解を得ながら（年支・月支の半会）、一族の恩恵に頼ることなく（生月中殺）、世の表の世界、日の当たる世界（丙、丁）で、時代の最先端、情報の最先端（丙、丁、午）にあって、長期的目的（壬：牽牛星）を達成させるために、友人、仲間、組織（石門星）の一員として要（貫索星）の人生観、価値観を備え、経済的安定した人生を着実に歩む（天禄星）とき、世の中の必要な存在となる宿命の風景となっています。

では、幸運をお祈りいたします。



■ 易経より ■

「周易繫辭伝」より 易は窮まれば変じ、変ずれば通じ、通じれば久し

「周易文言伝」より 積善の家には必ず余慶あり 積不善の家には必ず余殃あり

自然法算命学 観山素至命

URL <http://shizenhou.com/>

☆。.:*:・'° ★° '・*::. .:*.・'° ☆° '・*::. .:*.・'° ★° '・*:.

